

2024(令和6)年

ゆめじゅく

11月

〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7-30
 TEL : 0897-41-5859 (Fax 兼用)
 E-mail : seto@city.niihama.lg.jp

11月の予定

★移動図書館青い鳥号 5日・19日(火) 15時10分～15時50分	★ゆめじゅく編集委員会 11日(月) 13時30分～	★人権のつどい 11日(月) 19時30分～21時00分	★回転木馬 13日(水) 10時～10時30分	★ゆめ喫茶は会場の都合によりお休みです。	月 日 日 日 日
★人権・同和教育関係行事					
5日(火) 東予地区人権・同和教育研究協議会					
12日(火) 愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市)					
18日(月) 隣保館職員実務担当者研修会(西条市)					
26日(火) 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会					
28日(木) 新居浜市高等学校人権・同和教育研究大会					
30日(土) 1日(日) 全国人権・同和教育研究大会(熊本市他)					

であい展を開催します

開催日時 : 11月11日(月)～16日(土) 12時
 場所 : 瀬戸会館A室 B室
 作品搬入 11月8日(金) 13時～、 作品撤収 11月16日(土) 13時～

オープニング : 11月11日(月) 10時～11時 2階大会議室
 出演サークルは、オカリナ小組・詩吟・オカリナクラブ

ワークショップ : 11月12日(火) 13時～16時
 マクラメ・軽食販売は、10時からの体験・販売有り(詳細は後日案内)

体験教室 : マクラメ・アイシングクッキー・つまみ細工
 実演 : 篆刻彫り
 販売 : マクラメ・アイシングクッキー・くるくる座布団・一閑張り・ハンドメイド
 軽食販売 : 7373 BAKE スコーン・カヌレ
 cafe nora コーヒー・バナナケーキ等
 今年はゆっくりくつろげる cafe スペースをご用意する予定です。

大掃除のお知らせ

いつも瀬戸会館を利用いただきありがとうございます。さて早いもので年末が近づいてまいりました。恒例の瀬戸会館大掃除を各サークル・団体ご協力のもと、行いたいと思います。昨年と同様、各サークル2～3名程度の参加をお願いします。1年のほこりをさっぱり落とし、新しい気持ちで新年を迎えたいと思います。ご参加・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

日時 12月8日(日) 9時～10時半(予定)

新居浜秋祭り開催 子ども太鼓出陣!

10月16日、17日の両日、瀬戸・寿子ども太鼓の運行が行われました。

17日は上部地区山根グランド統一寄せに参加。出発前に保護者と一緒に記念撮影。その後、保護者の皆様の目配り、気配りで、子どもたちの安全を図りながら運行開始。太鼓の音と「ちようおっさあじゃあ!」の威勢の良い子どもたちの声に、道々で祝儀の「御花」が待っていました。その都度、「東西と一ざい、ただ今くだしおかれまます御花は、……」と可愛い声でお礼の口上が読み上げられました。太鼓台は、山根グランド統一寄せに参加後、4時過ぎに無事に瀬戸会館に帰ってきました。これからも、力強い太鼓の響きと子どもたちのほじける笑顔に拍手を送り続けたいと思います。

「フランケンシュタイン」の悲劇に学ぶ

イギリスの怪談小説『フランケンシュタイン』については、映画や漫画などを通じてよく知られていると思うのですが、原作の小説では、実はこの名前は怪物につけられたものではなく、怪物を作った科学者ヴィクター・フランケンシュタインの名前であり、怪物自身には名前がありません。またこの怪物は、最初から殺人鬼であったわけではなく、傷つきやすい子どものような純真で無垢な性質を備えているものとして描かれています。成長の過程では言語を取得し、音楽に感動し、書物を読み、知識と思考力を高めていきます。それとともに、自らは孤独な存在であり、愛情を求め、自分を理解してくれる人を心から望んでいることに気づいていきます。しかしながら、醜い姿・形をしているというだけで、人間は逃げ出したり、あるいは暴力をもって追い出したりします。

これらのことにより、自分は誰からも愛されず、ただ嫌悪されるだけの存在であることに、怪物は深く傷ついていきます。そして、人間に復讐する本当の怪物に変わっていくことになります。この作品のなかで、孤独を慰め、救いの手を差し伸べようとしてくれた、ただ一人の人間がいます。その人物は、目の不自由な老人でした。老人は怪物の言葉に、「何か誠実だと思わせるものがある」と語っています。目が不自由であることによって、外見に惑わされず、つまり、偏見にとらわれずに相手の本質を見抜くことができたということです。

最初から怪物が存在していたわけではなく、人間が、善良なる魂の人造人間を怪物に変えていったのです。それは、本質を見ようともせず、偏見によって判断し、忌避、排除、差別することによって怪物を作り出した結果なのです。「怪物は、怪物として生まれるのではなく、怪物に作り上げられるものである。」と言えるのではないのでしょうか。

人種差別、民族差別、女性差別、障がい者差別、高齢者差別、これらの差別は、人種、民族、性別、障がいの有無、年齢などの違いを認めず、違いによって優劣をつけ、排除の論理によって、行われている差別です。そして、部落差別や LGBTQ+といわれる性的少数者に対する差別は、社会的、経済的、文化的、政治的につくられた異質性による差別です。これらすべての差別に共通するのは、もともとあったものではないということです。自然にできたものでもありません。もちろん神様や仏様がつくったものでもありません。私たち、人間がつくったものなのです。それならば、フランケンシュタインを差別しなかった目の不自由な老人のように、人間の良心と英知と努力によってなくすことは間違いなく可能なことだと思います。

人権のつどい日

10月の人権のつどい日は、瀬戸会館指導員の小西裕久が、「他者感覚を磨く～環境大臣と水俣病被害者団体との懇談会でおこった発言遮断問題を通して～」の演題でお話しさせていただきました。

熊本県水俣市で5月1日に開かれた伊藤信太郎環境相と水俣病患者らの懇談で、水俣病患者連合副会長の松崎重光さんが、妻悦子さんの最期を話しました。「『痛いよ、どうかしてよ』と言っても私はどうすることもできませんでした」。悦子さんを病院に連れていき、医者に懇願しました。「痛みを取ってやってください」。しかし、死期を悟った悦子さんはこう告げました。「畳の上で死なば(死にたい)」。悦子さんにはモルヒネが処方されましたが、程なくして息を引き取りました。

松崎さんは話を続けました。「会社(チッソ)が水銀を垂れ流さんとこういうことにはならなかったんだがねえと、私はいつも家内と話していました」。すると、司会を務めていた環境省の職員が話を遮りました。「お話をまとめてください」。松崎さんの持っていたマイクの音量がオフになりました。松崎さんは小さくなった声で、続けました。「何で(患者認定の申請を)棄却ばかりするんですか。まず救おうとする考え方は持たませんか」。

別の参加者が「聞いてやれえなあ大臣」などと続々と訴えると、マイクの音量が戻りました。発言を途中で遮られる形となった松崎さんは戸惑いながらも、「苦しんで苦しんで死んでいった者の気持ちも汲んでくれませんか。以上です」と話を結びました。

環境省の職員は懇談終了後、マイクを切った対応について問われ、「事務局の不手際でございました」などと、苦しい釈明を繰り返しました。

懇談に参加していた被害者団体の一つ、「水俣病胎児性小児性患者・家族・支援者の会」の加藤タケ子事務局長は、環境省の対応を嘆きました。「人の心を持って聞いていけば、あんな対応はできない。患者側の声を機械音としか聞いてない」

環境省は、水俣病問題に法律に基づき取り組んでいるのでしょう。しかし、その対応は、明らかに事務的です。それは、水俣病被害者の立場ではなく、環境省の立場で水俣病を見ているからでしょう。被害を実感していない立場で水俣病被害者を見る限り、自分の価値観(被害を実感しない立場)の殻から抜け出せません。だから、厳しいようですが、他者としての水俣病患者やその家族の想いに寄り添うことができないのではないのでしょうか?これが、私の言う「他者感覚の重要性」です。

今も水俣病の被害で苦しんでいる人がいるのは、紛れもない事実です。被害者の立場を自分の内部に位置づけ、「水俣病は終わったもの」、「水俣病に今も苦しむ人たちの声を放置していた」、自分がいないか?自分の弱さや醜さが露呈するかもしれません。でも、自己内対話をするにより、従来の他人事であった自分を自分自身からひきはがすことができます。このような自分との対話を続けていくことが、「他者感覚を磨く」ことであり、この「他者感覚」なくして人権感覚は育たないと思うのです。

今回の問題は、私自身に風化しかねなかった水俣病が未だに解決していないということを開き直す機会になりました。改めて被害に遭った方、患者たちの思いに少しでも近づけるように私自身が、「他者感覚」磨き続けて行かなければならないと思います。



瀬戸会館使用状況



月	火	水	木	金	土	日
				1 健康体操 ピンポン フラダンス	2 ポーセラーツ	3
4	5 ハンドメイド えんとつ山 詩吟 レインボー-B フラダンス 書神会 E Dance school	6 水美会 短歌 楠木クラブ 空手	7 3B体操 どんぐり レインボー-A エストレージャ	8 であい展作品搬入	9 てんこく	10
11 すみれ 人権のつどい日	12 えんとつ山 フラダンス レインボー-B E Dance school	13 水美会 楠木クラブ 空手	14 どんぐり レインボー-A エストレージャ	15 健康体操 ピンポン フラダンス	16 小学生料理教室 であい展片付け	17
18 楠木クラブ ピンポン E Dance school fun	19 えんとつ山 ハンドメイド 詩吟 レインボー-B 書神会 E Dance school	20 水美会 楠木クラブ 空手	21 3B体操 どんぐり レインボー-A エストレージャ	22 健康体操 ピンポン フラダンス	23 てんこく ジェスモナイト体験 	24
25 楠木クラブ すみれ べっぴんさん ピンポン E Dance school fun	26 えんとつ山 ハンドメイド 詩吟 若葉会 つまみ細工 フラダンス レインボー-B 書神会 E Dance school	27 水美会 ポーセラーツ 楠木クラブ 空手	28 どんぐり レインボー-A オカリナ小組 紙バンド エストレージャ	29 健康体操 ピンポン フラダンス	30 みそ体験 	赤色:午前 青色:午後 黒色:夜間

※10月21日現在の予定を記載しております。



瀬戸会館では、人権、健康、福祉、生活等の各種相談を行っています。
お気軽にご相談ください。

瀬戸会館 HP